

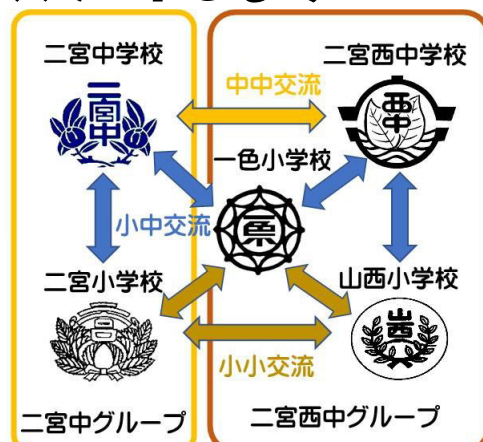


4月より小中一貫教育「にのみや学園」がスタートします

令和5年度より町内のすべての小中学校が1つの施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」としてスタートすることで、9年間を見通し、共通性と一貫性をもった教育をこれまで以上に充実させていきます。学園内では、子どもたちや教職員の声をもとにして、さまざまな交流を図っていきます。

小中一貫教育の教育目標

『認め合い、高め合う、二宮の子』



動き始める4つの「にのみや学園」プロジェクト

小学校と中学校のつながりを大切にして、小中間の滑らかな接続を図るとともに、子どもたちの9年間の学びや育ちを支えていきます。

その1 学級づくりの土台を9年間を通してそろえます

資質・能力を育成するための主体的・対話的で深い学びを実現するために、低学年から一貫して次の取り組みを進めます。

- ・全員が安心して過ごせる受容的・共感的な学級づくり
- ・学び合いを大切にした誰一人取り残されない学級づくり
- ・話し合い活動を中心とした協働的な授業づくり

その2 子どもたち同士の交流を図っていきます

目的に応じてオンラインや対面での交流を図ります。

●小学生と中学生の交流

- ・小学校高学年の部活動体験や授業見学
- ・中学校生徒会と小学6年生の交流
- ・特別支援学級児童生徒の交流

●小学生同士の交流

- ・中学校進学前に他の小学校の児童同士の交流

その3 9年間を見通したカリキュラム研究を進めます

- ・小中学校の先生が協働的に指導法について研究したり、異校種を体験したりすることで9年間を見通したよりよい授業づくりを進めます。
- ・二宮町に愛着と誇りをもてる子どもを育てるために「二宮町」をテーマにした探究学習を進めます。
- ・これまで重点的に取り組んできた英語教育についても引き続き充実を図ります。
- ・コミュニティ・スクールのよさを生かして、地域とのつながりを大切にした教育課程の充実を図ります。

その4 個に応じたきめ細かい支援の充実を図ります

- ・個々の教育的ニーズに応じた多様な学びの場、ともに学ぶ場の充実に向けて、校内支援、地域の関係機関との連携を強化するとともに、教育相談の充実を図ります。
- ・中学校の制服の見直しについて検討を始めます。

次号より「にのみや学園通信」としてリニューアルします

昨年4月より小中一貫教育をどのように取り組もうとしているのか「二宮町小中一貫教育通信」でお知らせしてきました。本年4月からは本格実施となります。これからは学園内の実践の様子を中心に「にのみや学園通信」と改めて情報発信をして参ります。